

強烈な政治力で「強い北海道」を！

私は今、毎日街頭演説をしています。そこで痛いほど感じるのは、「疲弊する北海道を変えてほしい」「地域経済の衰退をくい止めてもらいたい」という道民の皆さんの切実な思いです。

北海道経済は停滞したままです。現政権の地方政策は皆無と言っても過言ではありません。道民の生活を顧みないその態度に大きな憤りすら覚えます。

作家の司馬遼太郎さんは、生前に「日本にいくつかの可能性があるとすれば、その多くを果たすのが北海道である」とおっしゃっていました。

そのためには、北海道を変えなくてはなりません。次の年代が堂々と、子どもを産み育て、誇りを持った生

活をおくり、職を求める

ことができる。そんな場所

にしなければなりません。

「独自の価値」「独自の強み」を

創造して、強烈な政治力で「強い

北海道」を実現することが私のテーマです。

私はチャレンジして失敗を恐れるよりも、何も無いことを恐れます。何としても「強い北海道」をつくり、道民の皆さんの暮らしを豊かにしたい。その一念で再び国政に挑戦する決意をしました。

自由民主党北海道参議院選挙区第三支部長

長谷川 岳



高橋はるみ知事と一緒に強い北海道をつくります。

長谷川岳のプロフィール

■昭和46年愛知県春日井市生まれ。平成2年北海道大学入学。「企業経営論 NPO経営」を専攻。同6年北海道大学経済学部卒。在学中の同3年、学生仲間5人でYOSAKOIソーラン祭り実行委員会を発足させ翌年第1回祭りを開催。以後、毎年6月に開催し現在では観客200万人以上の北海道有数の観光資源に。

■平成10年同祭り組織委員会専務理事に就任。

■平成20年7月、自民党北海道第一選挙区支部長に就任。同21年8月、衆議院議員総選挙に出馬、12万4,343票獲得するが惜敗。12月より舛添要一前厚労相主宰「舛添政治カレッジ」に参加。札幌市定山溪在住。

- 身長:175cm ●体重:70Kg
 - 星座・血液型:水がめ座・O型
 - 趣味:水泳、登山、マラソン、読書
 - 家族構成:妻・長女
 - 尊敬している人:白洲次郎
 - 好きな作家:塩野七生、司馬遼太郎
 - 好きな漫画:『江戸前鮎職人 きららの仕事』『サンクチュアリ』『島耕作シリーズ』
 - 続けていること:毎朝8kmのジョギング(すでに地球を半周している)
 - 好きな言葉:不可能を可能に!
 - 苦手なこと:多くの人の前で話すこと
- 著書には、「YOSAKOIソーラン祭り～街づくりNPOの経営学」(岩波アクティブ新書)を共著で出版



長谷川 岳 連合後援会事務所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目ニュー札幌ビル7階

Tel.011-223-7708 Fax.011-223-7709

<http://hasegawagaku.jp>

《討議資料》

強い北海道を 北へつくる!

長谷川 がく 岳

自由民主党北海道参議院選挙区第三支部長

後援会のしおり

<http://hasegawagaku.jp>

私の挑戦 **長谷川岳**がく



人口減少による労働力不足、税収不足が顕在化していく2010年～2030年に、さまざまな問題が起きます。政治の役割はこの20年間に、どのくらい北海道を変えることができるかです。わが国の中での地位を飛躍させるためにも、北海道の政治のすべてを「食料」「水資源」「エネルギー」に集約しなければなりません。



政治塾にて



アルピニストの栗城史多さんも激励



舛添厚生大臣(当時)も応援に駆けつけてくれた去年の衆院選



毎日続けている街頭演説



街づくりの勉強会



決意も新たに参院選出馬の記者会見



仲間たちと野菜作り



後援者の皆さんをお出迎え



少年野球チームを応援



気さくな人柄が魅力



地域の皆さんとゴミ拾い



北海道には広大な土地、豊富な水資源があり、優秀な農林水産業従事者の方々に支えられ、食料自給率は200%を誇っています。食料基地としての位置付けを明確にして、関連産業を囲い込み、産業構築をすれば、雇用は間違いなく確保できます。



北海道は一人当たり、本州の10倍、1万立方メートルという膨大な水を有しています。この水資源を強みにし、水不足が懸念されるアジアに供給します。また、上下水道を民営化して水関連事業の基盤を作ることなどで、水を中心にした産業基盤が可能になります。



40年後までには、化石燃料に頼らないエネルギーを開拓し、生活スタイルを変えなければなりません。北海道には風力、地熱小型水力発電、太陽光などの自然再生エネルギーがあります。同時に、安全な原子力活用も議論していく必要があります。